

# 令和2年度学校自己評価システムシート ( 県立三郷工業技術高等学校 )

目指す学校像	「ものづくりの精神」に基づき、豊かな人間性を育成するとともに、学力向上をとおして、生徒の自信を高め、地域に貢献できる技術者を育成する
--------	--

重点目標	1 基礎学力や専門知識・技術の習得を重視し、学習指導を充実させる 2 生徒指導及び進路指導の充実を図り、社会人基礎力を身につけさせる 3 開かれた学校づくりに取り組み、工業高校の魅力を積極的に発信する
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		実 施 日	令 和 年 月 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	現状：基礎学力や家庭での学習習慣が身に付いていない生徒が見受けられる	①基礎学力の向上と主体的な学習態度の育成 ②専門知識と技術の確実な習得	①主体的・対話的で深い学びに通じる「わかる授業の実践」	①「授業内容を理解できた」という生徒の割合が各学期とも75%を達成 ②欠点数が各学期とも昨年比10%減				
	②基礎力診断テストを活用し学力向上につなげる		①結果を把握するとともに、下位層の生徒の成績を伸ばすことができたか					
	課題：学力向上と専門知識と技術の確実な習得を通して、生徒の自信を高める必要がある		①新学習指導要領対応教育課程の再検討と専門学科指導目標の追求	①本校の実態に即した魅力ある教育課程の決定				
			②課題研究の充実と資格取得や各種コンテストへの挑戦	①5科合同課題研究発表会の実施 ②資格取得率やコンテストに参加する生徒が増加したか				
2	現状：挨拶、身だしなみなどはおおむね良好であるが、社会人基礎力として自主・自律・調和の能力に欠ける行動が見受けられる	①組織的・重点的な生徒指導と部活動の活性化 ②主体的な進路活動による就職率・進学率100%を実現	①生徒の「セルフマネジメント能力」を高める生徒指導の推進	①基本的生活習慣の確立、特に遅刻者数が減少したか ②個々の生徒理解に努め、自己肯定感を高められる生徒指導の充実				
	②「生徒の自主的・自発的な参加」としての観点を踏まえた部活動の活性化		①部員数が増加した部活動が半数以上 ②各大会やコンテストでの活躍					
	課題：組織的・重点的な生徒指導、部活動の活性化と主体的な進路指導を通して、社会人基礎力を育成し、集団の一員としての自覚と責任を高め、進路実現につなげる必要がある		①生徒・保護者に的確な情報提供を行い、主体的な進路活動の実現	①進路実現100%を達成 ②「進路指導が十分に行われている」という生徒・保護者の割合85%を達成				
			②進路先との連携し三年間を見通したキャリア教育の実施	①教職員の企業訪問及び大学等入学説明会への積極的な参加 ②組織的な面接指導、進学補習の実施				
3	現状：開かれた学校づくりのため、積極的に情報提供や地域連携を行った結果、生徒募集につながりつつある	①積極的に情報提供し、志願者を増加させる ②地域や小中学校関係者等との連携強化	①HP等で授業や学校生活等の特色や魅力・成果について積極的に情報を発信	①生徒募集において、各科志願倍率1.0倍を確保する ②HP閲覧数・更新回数の増加				
	②出前授業や学校見学会、体験入学等とおしたPR活動		①地元小中学校との連携回数の増加 ②体験入学等における生徒参加者数の増加					
	課題：地域や小中学校関係者に分かりやすい情報提供をさらに行うとともに、PR活動や来校できる機会を増やす必要がある		①地域行事に積極的に参加し、本校へのニーズを知るとともに地域連携を強化する	①地元の企業や自治体等と連携回数が増えたか ②本校に対するニーズをとらえ、学校運営への反映を検討できたか				